

# 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2020 年 4 月 21 日作成 第 1.0 版

<b>研究課題名</b>	U-shape osteotomy を併用した上顎移動術の術後安定性と上気道の形態評価
<b>研究の対象</b>	2010 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日の間に上顎骨の手術で、われわれの考案した手術方法（U 字骨切り術）を用いて上顎骨移動術を行った顎変形症の方および馬蹄形骨切りを用いて上顎骨移動術を行った方で、手術時 16 歳以上の方。
<b>研究目的 ・方法</b>	顎変形症の治療に対し、上顎の移動において困難とされてきた上顎骨の上方移動・後方移動において今まで一般的に行われていた手術方法（馬蹄形骨切り術）と、われわれが発案した手術方法（U-shape osteotomy）での違いを比較評価します。評価内容は各手術方法における上顎骨の手術移動精度および術後の上顎骨の長期安定性です。評価方法は手術前後および、術後 1 年目の CT 画像と X 線画像（セファログラム）をもとに、3D ソフトウェアで解析します。
<b>研究期間</b>	西暦 2020 年 6 月 2 日（承認日） ～ 西暦 2021 年 3 月 31 日
<b>研究に用いる 試料・情報の種類</b>	診療録から以下の情報を収集します。 患者背景：年齢、性別 術前の顎変形症疾患の程度：咬合の状態として前歯の被蓋状態（overjet、overbite）、咬合平面の傾き（カントの有無）、顔貌や下顎の偏位の有無、臼歯の咬合関係 手術情報：上下顎移動量、手術方法、手術時間 CT 検査とセファログラム（撮影部位：頭頸部、撮影時期：術前、術後 4 日目、術後 1 年）
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57                  横浜市立大学附属市民総合医療センター 歯科口腔外科矯正歯科（研究責任者）山下 陽介                  電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-9908</p>	